

## 学校アンケートのまとめ

2学期の終わりに全校児童を対象に学習・生活についてのアンケートを実施しました。保護者の皆様からも、本校の教育活動について、アンケートにお答えいただきました。今後は、良い点を子供たちの成長として皆様と共有するとともに、学校が改善していかなければならない点を明確にし、次年度の計画に生かしてまいります。ご協力いただきありがとうございました。



### <保護者の皆様からいただいたアンケート結果について>

回答数 137名

質問に対して肯定的な回答(とてもそう思う+そう思う)の割合をもとにして◎○●を付けています。

4…そう思う、3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそう思わない 1…そう思わない

#### 1 教育目標について 「かしこく」の項目

質問項目	◎良好 (90%以上)	○概ね良好 (80%以上)	●課題 (80%未満)	4	3	2	1
◎ 学校は、分かりやすい整った環境整備をして授業を行っている。				40%	53%	6%	1%
◎ 学校は、子供たちにめあてや学習の見通しをもたせて学習を進めている。				43%	51%	6%	0%
◎ 学校は、基礎的な学力の定着を図っている。				45%	49%	4%	2%
● 解いて覚える記憶アプリ Monoxer (モノグサ) を使用したことで、子供の学力の向上効果を感じることができた。				9%	44%	21%	26%
● 来年度継続して Monoxer を使用したい。				14%	37%	17%	32%
◎ 学校は、規律ある学習習慣の確立、学習態度の育成に努めている。				39%	54%	6%	1%
○ 学校は、将来に向けて夢を育む指導を行っている。				27%	53%	17%	3%
○ 学校は、一人一人の子供に対して自己肯定感を育てる指導を行っている。				39%	49%	9%	3%

「かしこく」の項目については、「良好」が7割以上となっています。特に、昨年と比べて「基礎学力の定着」は、肯定的な回答が、7割から9割へと大幅に増えました。朝学習の時間などの充実や、自らすすんで学ぶ力を育てることに注力した結果だと受けとめています。Monoxerの効果を肯定的にとらえているのは、児童・保護者共に5割程度でした。今後も使用したいと考えている児童は4割、保護者は5割程度となりました。Monoxerの費用対効果や、学習用端末とMonoxerの相性、児童・保護者の意見を踏まえ、次年度はMonoxerの使用をやめます。来年度は、従来使用しているドリルやミライシード、その他Monoxer以外の学習アプリなど、学年の実態に応じて各学年で選択、活用していきます。

## 2 教育目標について 「あたたかく」の項目

質問項目	◎良好（90%以上）	○概ね良好（80%以上）	●課題（80%未満）	4	3	2	1
◎	学校は、いじめの無い学級、学校を目指し、子供が毎日楽しく安心して登校できるように努めている。			40%	53%	7%	0%
◎	学校は、先生や友達にすすんで挨拶するような指導を行っている。			42%	51%	6%	1%
◎	学校は、廊下歩行や時間を守ることを中心に規範意識を育てる指導を組織的に進めている。			35%	58%	7%	0%
◎	学校は、「ふわふわ言葉」が増えるように指導している。 * 「ふわふわ言葉」・・・言われて嬉しくなったり、元気が出たりする言葉			49%	47%	2%	2%
○	学校は、特別支援教育について分かりやすく説明したり、児童支援・サポート体制を構築したりしている。			37%	48%	14%	1%
◎	学校は1人1人に合わせた配慮を行い、子供が安心して過ごせるよう努めている。			39%	51%	8%	2%

「あたたかく」の項目については、ほぼ「良好」となっています。あいさつに対しては、できている場面とできていない場面がある児童には、教職員側からあいさつを励行し見本となり、児童の能力を伸ばさせていきます。また、合理的配慮に基づく教育については、新校舎完成に伴い誰でもトイレの設置や、人的配慮が十分である本校現状の強みを継続し、今後も教育環境を整えていきます。

## 3 教育目標について 「つよく」の項目

質問項目	◎良好（90%以上）	○概ね良好（80%以上）	●課題（80%未満）	4	3	2	1
●	体育の授業が充実するように、学校は校庭の整備を行ったり、体育用具の充実を推進したりしている。			26%	46%	22%	6%
◎	学校は、アレルギー対応食を徹底したり、くにたち食育推進・給食ステーション（KAMU COME キッチン）との連携体制を構築したりしている。			47%	49%	2%	2%
◎	学校は、避難訓練、交通安全教室、セーフティ教室等のもち方を工夫し、地域ぐるみで安全体制ができている。			40%	51%	7%	2%
◎	学校は、展覧会やクラブ・委員会活動、縦割り班を通して児童に自主的で創造的な活動の時間を確保している。			51%	44%	4%	1%

「つよく」の項目については、ほとんどが「良好」となっています。一方、体育授業の充実に関しては、新校舎への移転の影響で、校庭が狭くなり、制限がある中での体育授業に児童には不慣れな面があり、授業のしづらさなどの課題があったと考えます。現状の限られた校庭環境の中で授業を充実させるために、単元構成の工夫や学年間での協力体制を強固にしていきます。

## <児童による学習・生活の評価について>

質問に対して肯定的な回答(とてもそう思う+そう思う)の割合をもとにして◎○●を付けています。

4…そう思う、3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそう思わない 1…そう思わない

質問項目	◎良好 (90%以上)	○概ね良好 (80%以上)	●課題 (80%未満)	4	3	2	1
○ 学校は、学習に集中できる環境を整えている。				56%	32%	8%	4%
◎ 調べたり考えたりすることを自分で決め、見通しをもって学習している。				56%	38%	4%	2%
◎ 授業の内容が分かる。				68%	26%	4%	2%
● モノグサを使ったら、成績がのびた。(3年生以上回答)				29%	26%	20%	25%
● 来年も、モノグサを使用したい。(3年生以上回答)				24%	20%	16%	40%
○ 学校のきまりを守り、授業中は、話す人の方を向いて最後までしっかりと話を聞いている。				51%	38%	8%	3%
○ 将来やってみみたい事など、かなえたい夢がある。				66%	19%	7%	8%
○ 自分には、いいところや得意なことがある。				64%	25%	6%	5%
○ 学校は、いじめを無くそうとしている。				55%	29%	6%	10%
○ 先生や友達に、自分から進んで挨拶している。				47%	38%	10%	5%
◎ きまりややくそくを守って生活している。				54%	38%	6%	2%
◎ 「ありがとう」などの「ふわふわ言葉」を使っている。				61%	30%	6%	3%
○ 先生や支援員の方は、困っている時に助けてくれる。				60%	29%	7%	4%
○ 安心して学校生活を送ることができている。				65%	24%	7%	4%
○ 校庭や体育館は体育の時、使いやすく、体育用具で不足しているものはない。				52%	36%	7%	5%
◎ 給食の大切さが分かり、給食の時間が楽しみだ。				67%	23%	6%	4%
◎ 避難訓練、防犯訓練、交通安全教室などで学んだ安全に生活することについて理解している。				74%	22%	2%	2%
○ 自分や友達の発想や考えを生かして、学校生活を充実させている。				55%	32%	8%	5%

約9割の児童が、落ち着いた学習環境で、安心して毎日を過ごし、学習内容を理解している様子です。健康や安全に関する内容についても意識している様子です。今後も、児童が活躍したり認められたりする場面を全学校生活で展開し、自他のよさを意識できるような取り組みを実施していきます。

